

授業評価集計結果及び分析と改善策

(国語)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	30.7	52.0	10.7	6.7	22.1	57.5	15.9	4.4	32.4	40.8	22.5	4.2
質問2	46.6	43.9	8.8	0.7	31.9	61.1	6.2	0.9	43.5	52.2	4.3	0.0
質問3	37.6	57.0	5.4	0.0	27.9	61.3	9.9	0.9	43.7	52.1	2.8	1.4
質問4	47.0	45.0	5.4	2.7	50.4	45.1	2.7	1.8	39.4	52.1	7.0	1.4
質問5	59.7	33.6	6.0	0.7	47.8	47.8	3.5	0.9	47.1	51.4	1.4	0.0
質問6	55.7	40.3	3.4	0.7	49.6	48.7	1.8	0.0	49.3	46.5	4.2	0.0
質問7	57.1	35.4	6.1	1.4	55.4	38.4	5.4	0.9	60.6	38.0	1.4	0.0
質問8	44.6	43.9	10.1	1.4	50.5	42.3	6.3	0.9	54.9	40.8	4.2	0.0
質問9	62.6	33.3	3.4	0.7	60.2	35.2	4.6	0.0	57.7	42.3	0.0	0.0
質問10	66.7	26.5	5.4	1.4	64.0	33.3	1.8	0.9	53.5	38.0	5.6	2.8
質問11	48.6	41.2	8.1	2.0	51.8	38.2	9.1	0.9	52.1	46.5	0.0	1.4
質問12	58.4	34.2	3.4	4.0	52.7	39.3	3.6	4.5	42.6	27.7	27.7	2.1

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力(学習のねらい)に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT(Chromebook)の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

3学年ともに生徒が予習・復習をして授業に臨んでいない生徒が多くなっていることが分かる特に3年生は約1/4の生徒が、2年生は約2割の生徒が取り組めておらず、他の項目と比較しても特に多いことが分かる。また、1年生では先生と生徒、生徒同士の対話や討論する機会が少ないと感じている生徒が約1割と上記の生徒と同様に多くみられる。2年生では学習した内容が身についているかの項目と、安心して質問や発言ができるかという項目において、当てはまらない生徒がともに約1割と無視できない数見受けられる。3年生では納得できる評価かどうかの項目で、納得感を得られていない生徒が約3割と最も多く見受けられる。

しかし、他項目においてはほとんどが当てはまる生徒とおなっており、9割を超えているものが多い。3年生の板書や教材等の使い方について、適切と考えている生徒は10割である。ICTについても比較的効果的に使っているのではないかと考えられる。

改善策の検討

「国語はどうやって勉強すればいいかわからない」という生徒が多いため、勉強方法や授業で学んだこと、身に付けたことをどう生かしていくのかをより明確に生徒たちに伝えるようにして、予習・復習に取り組む姿勢を育てていく。また発言をしやすい環境にしていくために、現行の制度を改め、正否関係なく発言ができる授業を目指していく。さらに授業内で身に付けた資質・能力が実感しやすい言語活動や課題を取り入れ、今以上に成果が見えやすい授業にしていくことで、評価についても、生徒たち自信で納得できるようにして、自らの学習を振り返り、教師だけでなく、生徒も学習を改善していける授業にしていく。またICTについても、今以上に積極的に取り入れ、より効果的に用いられるようにしていく。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(社 会) 科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問 1	24.2	50.3	16.1	9.4	26.5	49.3	16.9	7.4	24.8	42.6	22.7	9.9
質問 2	39.2	48.6	10.8	1.4	44.1	50.0	5.1	0.7	43.9	48.2	6.5	1.4
質問 3	28.7	58.0	12.7	0.7	39.7	55.9	4.4	0.0	33.8	52.5	9.4	4.3
質問 4	34.9	58.4	5.4	1.3	55.9	43.4	0.0	0.7	45.0	43.6	7.9	3.6
質問 5	34.2	56.4	7.4	2.0	51.5	42.6	5.1	0.7	47.5	41.8	7.1	3.5
質問 6	36.2	52.3	8.7	2.7	50.7	44.9	4.4	0.0	45.3	48.2	4.3	2.2
質問 7	43.0	48.3	7.4	1.3	55.1	39.0	5.1	0.7	52.9	38.6	6.4	2.1
質問 8	35.8	52.0	9.5	2.7	57.4	36.8	3.7	2.2	51.1	43.3	2.8	2.8
質問 9	51.4	45.3	2.7	0.7	55.9	35.3	5.9	2.9	60.7	36.4	1.4	1.4
質問 10	59.1	36.9	2.7	1.3	74.8	22.2	0.7	2.2	49.6	41.1	6.4	2.8
質問 11	35.1	52.7	10.1	2.0	44.4	51.9	3.7	0.0	48.9	39.7	8.5	2.8
質問 12	48.0	43.9	3.4	4.7	55.9	39.7	3.7	0.7	46.2	26.1	26.1	1.6

- 質問 1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問 2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問 3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問 4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問 5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問 6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問 7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問 8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問 9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問 10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問 11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問 12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

質問1の項目において、3学年ともに2～3割の生徒が事前に準備をして取り組めていないということがわかる。1年生では他学年に比べ、質問8の項目に当てはまらない解答が多く見受けられたため、地理・歴史ともに生徒同士の対話や討論する機会が少ないととらえている生徒が多いということがわかる。2学年では質問10の項目に対して肯定的な解答が多く、ICTの活用ができているということがわかる。3学年では質問9の項目について当てはまる解答が9割以上を超え、授業者としても生徒がプリントや教材を有効に活用することができている現状を感じている。

改善策の検討

年間や単元・題材ごとの授業計画を明らかにし、生徒が授業や単元の見通しを持ち、授業者と共通理解をして授業に取り組み、学習内容をおおむね理解し、身につけたと実感できるような授業を展開する。また、基礎知識の定着や生徒同士の対話・討論のツールとして、Chromebookの活用を引き続き行っていく。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(数 学) 科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	39.2	51.4	6.1	3.4	32.8	46.7	13.9	6.6	40.5	42.9	10.3	6.3
質問2	49.7	41.5	8.8	0.0	47.8	43.5	7.2	1.4	58.7	31.0	9.5	0.8
質問3	42.9	53.7	3.4	0.0	48.2	37.2	13.1	1.5	46.0	44.4	7.9	1.6
質問4	47.6	47.6	2.7	2.0	54.3	39.9	5.1	0.7	57.9	36.5	4.8	0.8
質問5	51.7	44.9	2.0	1.4	56.5	42.8	0.7	0.0	62.7	35.7	0.8	0.8
質問6	47.9	47.3	4.1	0.7	57.7	40.1	2.2	0.0	59.5	38.9	1.6	0.0
質問7	50.7	45.2	2.7	1.4	67.9	29.9	1.5	0.7	69.0	28.6	2.4	0.0
質問8	46.6	41.1	10.3	2.1	45.7	44.2	8.0	2.2	52.4	37.3	7.9	2.4
質問9	61.4	36.6	1.4	0.7	69.6	28.3	1.4	0.7	80.3	18.0	1.6	0.0
質問10	33.6	35.7	12.6	18.2	29.3	27.1	11.3	32.3	32.3	36.3	15.3	16.1
質問11	52.1	40.4	6.8	0.7	63.8	31.2	2.9	2.2	64.8	32.8	2.4	0.0
質問12	59.2	33.3	2.7	4.8	68.1	27.5	2.9	1.4	60.3	19.9	19.9	0.0

質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。

質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。

質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。

質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。

質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。

質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。

質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。

質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。

質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。

質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。

質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。

質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

全学年を通して、質問10のICTの活用ができていない。Chromebookを使っている授業はあまり行えていないので、使い方の研修等が必要である。

質問5、6、7、9では授業者への評価が高く、授業をしっかりと組み立てられている。教材を工夫し、生徒が理解しやすい、わかる授業を展開できている。一方、質問3の内容の理解に関しては低いので、学力定着に対して工夫が必要である。

改善策の検討

授業に意欲的に取り組んでいるので、小テストや既習事項の振り返りを多くし、知識を定着させていきたい。また、次年度はデジタル教科書の導入もあるので、活用できるようにし、モノグサがより使いやすくなることを期待して質問1の予習・復習をできる環境を作っていきたい。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(理)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	24.8	47.9	20.6	6.7	24.5	37.4	28.8	9.4	35.1	49.1	10.5	5.3
質問2	34.8	51.8	10.4	3.0	27.5	56.3	14.8	1.4	37.7	51.8	9.6	0.9
質問3	28.8	55.2	14.1	1.8	16.2	43.0	35.2	5.6	26.5	63.7	8.0	1.8
質問4	39.6	51.2	7.9	1.2	27.7	44.7	19.1	8.5	70.2	28.1	1.8	0.0
質問5	36.4	56.8	4.9	1.9	22.7	35.5	29.1	12.8	60.2	37.2	2.7	0.0
質問6	43.6	49.1	6.7	0.6	22.1	38.6	27.1	12.1	67.3	31.9	0.9	0.0
質問7	44.4	49.4	5.6	0.6	14.9	34.0	31.2	19.9	52.6	43.9	3.5	0.0
質問8	30.7	51.5	13.5	4.3	25.0	35.0	25.0	15.0	71.9	26.3	1.8	0.0
質問9	59.1	37.2	3.0	0.6	24.8	48.9	18.4	7.8	76.1	22.1	1.8	0.0
質問10	46.6	46.6	4.9	1.8	19.7	31.4	21.2	27.7	84.1	15.9	0.0	0.0
質問11	35.0	52.1	10.4	2.5	14.9	39.0	26.2	19.9	38.9	49.6	8.0	3.5
質問12	47.2	46.0	4.3	2.5	29.1	46.8	14.2	9.9	52.1	23.3	23.3	1.4

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

質問1では、3年生は1年間を通じて、AIドリルを用いた予習・復習を授業の一環として取り入れていたため多くの生徒が取り組んだ実感を持っていると考えられる。1年生では、質問3より授業で学習した内容が身につけていると答えた生徒が多く、丁寧に、「わかる」指導を心がけた結果であると考えられる。2年生では、質問5～7より、授業の組立そのものに強い不足が感じられ、ICTの活用についても不足が見られる。3学年の質問4～6では、毎単元において必ず単元指導計画を提示し、各授業のはじめに授業で身に付ける資質能力を示していたと同時に、定期試験やパフォーマンステストにおいてどんな資質・能力を確かめるかについて予め指示をしていたため、高い割合で生徒が評価していると考えられる。それに対して質問12では、過半数の生徒が学習評価について納得しているのに対し、納得できないと回答した生徒が一定数いた。加えて、質問8～10では、ICTを活用した対話ベースの授業であったため、その授業設計について好意的に受け止められていると考えられる。対して、質問11では、他の質問項目に比べて質問や発言についてはしづらさがあると答えている。

改善策の検討

3年生では、従来の教え込みの授業から、主体的・対話的な学びへの授業へと転換したことにより、学年間での生徒による評価の差があったと考えられる。この事例より、年間の指導計画および単元での授業の計画について生徒に知らせることや、授業の中で「何を学び、何ができるようになるか」を提示することが大切であると考えられる。また、繰り返し指導してくことで、教科の中で育まれる資質・能力が何であるのかなどが生徒に浸透していくため、1年を通して何度も指導する必要があると考える。観点別学習状況が適切であるか、という項目については、「3年生のどちらかといえば、あてはまらない」の割合が多い。単元別に、総括的な評価を行う授業とその評価規準を前もって単元計画を配布することで丁寧に説明していたが、定期試験を〇×ではなく、3段階評価のみで学習評価を行うようにしていたため、「とてもそう思う」の5割の生徒がいる反面、納得がいけないと感じた生徒がいたのではないかと考えられる。より一層、生徒の能力を確かめる方法について、教科として検討していく必要がある。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(音楽)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	15.5	53.5	20.4	10.6	26.5	43.4	21.3	8.8	24.4	30.3	20.2	25.2
質問2	39.0	50.4	9.2	1.4	48.2	48.9	2.9	0.0	56.3	39.5	3.4	0.8
質問3	33.3	54.6	10.6	1.4	43.1	49.6	7.3	0.0	48.3	41.5	7.6	2.5
質問4	37.4	55.4	5.8	1.4	48.2	48.9	2.9	0.0	43.7	48.7	6.7	0.8
質問5	40.0	52.1	5.7	2.1	52.6	44.5	2.2	0.7	54.6	42.9	1.7	0.8
質問6	39.3	55.7	4.3	0.7	50.0	46.3	2.2	1.5	52.1	44.5	3.4	0.0
質問7	47.1	46.4	5.0	1.4	60.6	37.2	2.2	0.0	48.7	41.2	7.6	2.5
質問8	34.0	52.5	9.9	3.5	56.6	38.2	3.7	1.5	51.3	41.2	5.9	1.7
質問9	51.4	44.9	2.9	0.7	61.8	36.0	1.5	0.7	53.0	44.4	2.6	0.0
質問10	55.0	37.9	4.3	2.9	64.0	32.4	2.2	1.5	63.0	34.5	1.7	0.8
質問11	39.7	49.6	8.5	2.1	57.7	39.4	2.9	0.0	51.7	44.9	2.5	0.8
質問12	48.9	42.4	4.3	4.3	58.4	37.2	3.6	0.7	43.5	28.0	28.0	0.6

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

質問2「あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。」、質問8「授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。」においてどちらかといえば当てはまらない、当てはまらないの合計が1年生において10%を越えている。

質問4「年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。」において全学年をとおしてどちらかといえば当てはまらない、当てはまらないの合計の割合が高めである。

改善策の検討

実技教科なので予習・復習などの学習への準備が他の教科に比べ少ない分、授業内で生徒が主体的・積極的に授業に参加できる授業づくりを心がけたい。

少ない授業数の中、題材における生徒に身に付けさせたい資質・能力をさらに明白にし、授業時間ごとにめあてを確認しながら生徒同士が対話・討論することで学び合える授業づくりを心がけたい。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(美術)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	14.1	48.9	18.5	18.5	24.8	40.6	21.1	13.5	26.2	31.1	16.4	26.2
質問2	34.8	51.1	8.1	5.9	51.5	44.8	2.2	1.5	57.4	39.3	3.3	0.0
質問3	24.4	60.0	10.4	5.2	44.8	50.0	5.2	0.0	47.5	44.3	8.2	0.0
質問4	28.4	48.5	16.4	6.7	42.5	53.7	2.2	1.5	45.9	45.9	8.2	0.0
質問5	26.7	44.4	17.8	11.1	45.5	52.2	2.2	0.0	49.2	47.5	1.6	1.6
質問6	20.9	51.5	17.2	10.4	41.8	54.5	3.0	0.7	49.2	49.2	1.6	0.0
質問7	17.9	51.5	17.9	12.7	43.6	49.6	6.0	0.8	44.3	45.9	4.9	4.9
質問8	20.9	47.8	22.4	9.0	37.6	48.9	12.8	0.8	40.0	41.7	15.0	3.3
質問9	29.9	45.5	14.2	10.4	48.5	45.5	5.2	0.7	54.1	42.6	3.3	0.0
質問10	25.0	42.4	15.2	17.4	49.3	44.8	6.0	0.0	55.7	39.3	1.6	3.3
質問11	20.0	44.4	20.7	14.8	41.0	49.3	9.7	0.0	54.1	41.0	3.3	1.6
質問12	29.9	47.8	13.4	9.0	53.4	40.6	5.3	0.8	46.3	25.6	25.6	2.4

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

- ・全学年共通して1の予習・復習については授業の特性から、ほとんど取り組む事が少ないと思われる。
- ・全学年共通して8の先生、生徒及び生徒間の対話、討論の時間については授業の中で説明と制作に時間が多く使われるため取れない現状が表れている。
- ・1年では5～7、9において授業計画、内容が不十分であることが表れている。
- ・3年では12の評価に関わる事で納得ができない生徒が他学年に比べて目立つ。

改善策の検討

- ・授業展開の中で生徒間の相互鑑賞の発表や意見交換などを取り入れながら対話をもてる場面を作っていく。
- ・1学年では基本的な表現活動において授業展開や教材研究の工夫により生徒一人ひとりの個別的な指導、支援をより細やかに、またていねいに行っていくことで改善したい。
- ・ICT（Chromebook）の使い方についてより授業や評価の中で活用の工夫を研修して向上に努めたい。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(保健体育)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	26.7	48.9	14.1	10.4	23.2	47.2	17.6	12.0	30.0	36.3	18.8	15.0
質問2	47.4	40.6	9.8	2.3	44.8	48.8	5.6	0.8	66.3	28.8	5.0	0.0
質問3	34.1	58.5	5.9	1.5	46.0	49.2	4.0	0.8	58.8	35.0	3.8	2.5
質問4	40.3	55.2	2.2	2.2	50.4	47.2	1.6	0.8	56.3	40.0	3.8	0.0
質問5	42.9	52.6	2.3	2.3	51.6	47.6	0.0	0.8	68.8	28.8	2.5	0.0
質問6	42.5	53.7	3.0	0.7	46.4	52.8	0.0	0.8	62.0	38.0	0.0	0.0
質問7	34.8	60.6	3.8	0.8	47.6	48.4	2.4	1.6	53.8	37.5	6.3	2.5
質問8	35.6	51.5	8.3	4.5	41.6	53.6	3.2	1.6	49.4	38.0	11.4	1.3
質問9	38.1	53.0	5.2	3.7	41.9	54.0	2.4	1.6	51.3	38.8	7.5	2.5
質問10	26.7	39.7	12.2	21.4	27.6	35.8	11.4	25.2	48.1	31.6	13.9	6.3
質問11	40.3	52.2	6.0	1.5	53.2	43.5	2.4	0.8	62.8	30.8	5.1	1.3
質問12	48.5	44.8	2.2	4.5	48.4	48.4	2.4	0.8	52.5	23.8	23.8	0.0

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

- 質問2『自ら主体的・積極的に授業に参加している。』の回答については、当てはまる、どちらかといえば当てはまるが全学年約90～95%となり、一定の成果は得ている。
- 質問10『ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。』の回答については、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらないが1・2年で約30%、3年で約20%となっている。
- 質問12『授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。』の3年の回答でどちらかといえば当てはまらないが約25%（4人に1人）はかなり数値が高い。

改善策の検討

『ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。』に関して、毎時間の取組として考えるのではなく、単元や種目の適性をみながら使用頻度を増やせるよう検討していく。また、保健の授業でも調べ学習やレポート提出、カード学習に生かせるよう工夫を重ねる。

「授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。」に関して、3年生のどちらかといえば当てはまらないが約25%という結果については、進路成績につながることへの不安を解消できるよう年度はじめから丁寧な説明と明確な評価基準で理解を深めていきたい。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(技術)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	16.7	54.7	18.0	10.7	23.6	39.3	25.0	12.1	29.5	21.1	30.5	18.9
質問2	43.0	48.3	7.9	0.7	46.8	49.6	2.8	0.7	50.0	41.5	7.4	1.1
質問3	30.9	61.2	7.2	0.7	46.8	48.2	4.3	0.7	35.1	53.2	9.6	2.1
質問4	42.4	49.7	6.6	1.3	46.8	48.2	5.0	0.0	43.6	51.1	2.1	3.2
質問5	40.0	53.3	5.3	1.3	44.7	54.6	0.7	0.0	46.7	50.0	1.1	2.2
質問6	41.3	54.7	2.7	1.3	46.1	52.5	1.4	0.0	47.9	45.7	5.3	1.1
質問7	33.8	56.3	8.6	1.3	48.6	49.3	2.1	0.0	44.7	47.9	5.3	2.1
質問8	27.3	53.3	16.0	3.3	44.3	45.7	8.6	1.4	43.5	42.4	10.9	3.3
質問9	44.7	46.7	8.0	0.7	51.8	45.4	2.8	0.0	49.5	41.9	7.5	1.1
質問10	43.9	45.3	5.4	5.4	56.7	39.7	2.1	1.4	41.9	44.1	7.5	6.5
質問11	32.0	52.7	12.7	2.7	46.8	48.9	4.3	0.0	46.2	43.0	9.7	1.1
質問12	41.1	51.7	4.0	3.3	56.7	42.6	0.7	0.0	51.2	24.4	24.4	0.0

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

- ・全学年共通して1の予習・復習については実技教科なので、あまり取り組まない生徒が多くなっている。
- ・全学年共通して8の先生、生徒及び生徒間の対話、討論の時間については少しづつ取り入れているが、授業の中での説明と製作に時間が多く使われるため多くの時間が取れていないのが現状である。

改善策の検討

- ・予習・復習にあまり取り組まない生徒が多くなっているため家庭での取り組みができる課題を出せるようにし、家庭学習が少しづつできるようにしていく。
- ・生徒及び生徒間の対話、討論の時間については、各学年で少しづつ取り入れており、今後討論の時間を増やしながら、自主的で対話的な授業を進められるようにしていきたい。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(家庭)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	25.7	46.4	17.1	10.7	26.0	37.3	25.3	11.3	27.1	31.6	21.1	20.3
質問2	49.6	42.4	7.9	0.0	41.3	50.7	7.3	0.7	58.6	37.6	3.8	0.0
質問3	39.3	54.3	6.4	0.0	41.7	51.7	6.6	0.0	55.7	40.5	2.3	1.5
質問4	41.7	53.2	3.6	1.4	51.0	41.7	6.0	1.3	52.6	39.1	7.5	0.8
質問5	47.1	50.0	2.9	0.0	53.0	43.0	4.0	0.0	63.6	35.6	0.8	0.0
質問6	48.6	47.1	4.3	0.0	50.7	45.3	3.3	0.7	60.9	36.8	2.3	0.0
質問7	48.9	48.9	2.2	0.0	54.3	41.7	3.3	0.7	66.9	31.6	1.5	0.0
質問8	43.2	41.7	13.7	1.4	49.0	43.7	6.6	0.7	57.1	34.6	6.0	2.3
質問9	48.6	42.8	8.0	0.7	55.6	39.1	4.6	0.7	59.4	38.3	0.8	1.5
質問10	47.8	42.0	5.8	4.3	60.7	35.3	2.7	1.3	67.2	29.0	2.3	1.5
質問11	48.2	46.0	5.8	0.0	55.6	39.7	4.6	0.0	66.9	30.0	1.5	1.5
質問12	54.7	38.1	4.3	2.9	57.0	39.1	4.0	0.0	59.1	20.1	20.1	0.6

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

2・3年では「ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。」に当てはまるが60%を超えているが1年生はかなり差がある。1年生の授業ではICTの活用が課題。「授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。」に関して、3年生のどちらかといえば当てはまらないが突出している。

改善策の検討

「授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。」に関して、3年生のどちらかといえば当てはまらないが突出している。3年生の進路成績で納得できていない生徒がいると考える。3年生の成績では今まで以上に学習評価の説明を丁寧に言い生徒が納得いく評価を行っていく。「授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。」の項目はどちらかといえば当てはまらないが比較的多いので、主体的で対話的な授業に向けて授業内で活動や討論ができるよう内容を改善したい。

授業評価集計結果及び分析と改善策

(英語)科

	1年				2年				3年			
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
質問1	41.9	45.9	8.1	4.1	49.2	35.8	14.2	0.8	33.8	41.5	18.5	6.2
質問2	43.9	39.2	16.2	0.7	62.5	30.8	6.7	0.0	40.0	49.2	9.2	1.5
質問3	33.6	49.7	16.1	0.7	38.1	53.4	5.1	3.4	38.5	46.2	12.3	3.1
質問4	40.5	48.6	9.5	1.4	52.1	42.0	5.9	0.0	47.7	47.7	4.6	0.0
質問5	43.8	47.3	8.2	0.7	56.8	39.0	4.2	0.0	48.4	50.0	1.6	0.0
質問6	45.9	46.6	6.8	0.7	52.5	43.3	4.2	0.0	46.2	50.8	3.1	0.0
質問7	50.3	42.8	6.2	0.7	59.2	35.8	4.2	0.8	50.8	41.3	6.3	1.6
質問8	42.3	49.0	8.1	0.7	58.0	34.5	5.9	1.7	60.0	38.5	0.0	1.5
質問9	62.6	31.3	5.4	0.7	64.7	30.3	4.2	0.8	64.1	34.4	1.6	0.0
質問10	57.0	35.6	6.0	1.3	60.5	32.8	5.0	1.7	50.8	43.1	6.2	0.0
質問11	41.9	41.9	14.2	2.0	54.6	37.8	5.9	1.7	50.0	45.3	3.1	1.6
質問12	50.7	40.5	6.1	2.7	65.0	29.2	5.0	0.8	36.7	31.1	31.1	1.1

- 質問1 あなたは、予習・復習など学習の準備をして授業で学習している。
- 質問2 あなたは、自ら主体的・積極的に授業に参加している。
- 質問3 あなたは、授業で学習した内容は、おおむね理解し、身に付いている。
- 質問4 年間や単元・題材ごとの授業の計画が明らかになっており、それに基づいて授業が進められている。
- 質問5 生徒が資質・能力を身に付けるため、意欲的な授業を行っている。
- 質問6 単元・題材で身に付ける資質・能力（学習のねらい）に向けた適切な学習内容であり、授業の組み立ても適切である。
- 質問7 授業中の発問や説明の仕方が適切である。
- 質問8 授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある。
- 質問9 板書・プリント・教材等の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問10 ICT（Chromebook）の使い方は適切で、授業での学習に役立っている。
- 質問11 生徒1人1人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である。
- 質問12 授業中の活動や提出物の評価や、学期末の観点別学習状況の評価と評定は適切に行われ折り、納得できる学習評価である。

結果の分析

- 質問1, 2の回答に比べ、質問3の肯定的な回答の数値が低いことから、予習・復習への意欲や学習への主体性・積極性はあるが、それが学力の定着に結びついていない現状がうかがえる。
- 質問10のICTの活用についてはどの学年も肯定的な意見が多い。
- 質問12の評価・評定では、3年生において、生徒への納得のいく評価について課題がみられる。

改善策の検討

学力の定着において、モノグサなどを活用した基礎知識の定着に向けた工夫が必要である。質問4～9の授業者への評価が低くないことから、生徒自ら学力の定着が実感でき、学びに向かうような授業づくりが必要である。3年生の評価については、シラバスなどを用いて評価材料を明らかにし、生徒への細かなフィードバックが必要である。